

令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	商業	科目	簿記	学年	第3学年	類型	I
単位数	2単位	教科書	高校簿記 新訂版（実教出版）				
補助教材							

学習目標	企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を習得し、簿記の基本的なしくみについて理解するとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を身に付けることを目標とする。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考查	
1 学期	4月	第V編 取引の記帳と 決算Ⅲ	特殊な売買取引の記帳を学習し、様々な販売形式の仕訳を理解する。	中間 考查	
	5月		特殊な手形取引の記帳を学習し、様々な種類の手形の仕訳を理解する。		
	6月	第VI編 本支店の会計	本支店間の取引において、本店と支店または支店どうしの取引の仕訳方法を理解する。		期末 考查
	7月				
2 学期	8月	第VII編 複合仕訳帳制	現金・当座預金出納帳を特殊仕訳帳とした記帳方法を習得する。	中間 考查	
	9月		仕入・売上帳を特殊仕訳帳とした記帳方法を習得する。		
	10月		特殊仕訳帳と普通仕訳帳を同時に扱う場合の記帳方法を習得する。		
	11月	発展編 株式会社の記帳	株式会社の設立と開業および株式の発行に関する処理を理解する。	期末 考查	
	12月				剰余金の処分方法について、正しい仕訳の方法を理解する。
3 学期	1月		株式会社の税金の処理について学習し、適切な仕訳の方法を理解する。	学年 末 考 査	
	2月				
	3月				

学習の方法	学習プリント等で繰り返し練習することが大切です。ノート等も普段から提出文書を作成するつもりで丁寧に記入していくことを心掛けましょう。
-------	--

	①	②	③	④	⑤
評価の観点	個人企業における簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいる。	様々な記帳方法について、知識と技術を最大限活用して適切に判断する能力を身に付けている。	個人企業における基礎的な技能を身に付けている。	簿記の基本的なしくみについて、理解している。	
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考查の得点と平常点から総合的に評価を行う。平常点は、提出物や授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。				